

1 事業報告

令和6年度の事業概要について次のとおり報告する。

(1) 学校運営

令和6年度も地政学的リスクの高い状況は変わらず、また経済の先行き不透明感が増すなか、資材や人件費の高騰などによって教材の価格や様々なサービスの価格が上昇する状況においての学校運営となった。

支出の負担が増える一方、収入面では最も大きな財源である学生納付金収入が減収となり、全体の収入額も減収となった。減収の要因は令和6年4月入学者が定員を充足できなかったことが原因であるが、総定員自体は充足していたため大きな減収にはならなかった。しかし、定員が充足していない学年があることの影響は今年度に限らず、卒業年まで継続する課題である。今後、さらに学生確保が難しくなることが予測される状況において安定した学校運営を行うためには、少なくとも総定員を充足させなければならない。そのためには、学生の確保だけではなく、入学した学生が卒業まで学業を継続できるようにサポートすることが重要である。

一般社団法人京都私立病院協会から委託を受けて令和4年度から行っている「看護スキル確認講習会」を令和6年度も引き続き実施し、2クールで計8回実施した。看護職者の育成だけでなく、潜在看護師の再就職支援を行うことは、学校法人の目的の一つである「地域住民の医療の充実」につながることであり、今後も積極的に対応していきたい。

(2) 学生募集

令和6年4月入学者が定員に満たなかったことを受け、令和6年度は「入学定員の充足」を目標として学生募集活動を行った。オープンキャンパスでは参加者の満足度を高めることを目指し、対面での進路相談会や学校見学では本校の魅力をいかにして伝えるかに重点を置いて対応した。また、入学試験では受験者の増を目指して指定校数の拡大や受験条件の緩和などを行った。

入学試験の結果、看護学科は44名、看護保健学科は40名の入学者を確保することができた。しながら、看護保健学科の入学予定者で、「合格後は必ず入学する」ことが受験条件である公募推薦入学試験の合格者1名が入学を辞退したため、実際の入学者は39名となった。この結果、学科別では定員が充足していないが、2つの学科合計で見ると入学定員(80名)を上回っているため、最低限の目標は達成できたと考えている。

(3) 教育活動

令和6年度は、令和4年度入学生から適用した第5次改正カリキュラムを学習する学年と、旧カリキュラムを学習する学年とが混在する最後の年度となったが、大きく混乱することなく教育を進めることができた。令和7年度からは全学年で第5次改正カリキュラムを実施するが、旧カリキュラムを履修してきた学生が卒業延期となったため、引き続きこれらの学生に不利が生じないように対応することとする。

令和5年度入学生から導入したICT教育は2年目を迎え、教員・学生とも電子媒体・電子テキストを用いた教育をスムーズに進めることができ、十分な教育効果を得ることができている。

また、2月に国家試験対策センターを立ち上げ、国家試験対策の強化に継続して取り組む体制を整えた。第39期卒業生は看護師国家試験を82名が受験して81名が合格し、保健師国家試験は37

名が受験して36名が合格した。資格を取得した81名全員が就職し、このうち61名(75.3%)が一般社団法人京都私立病院協会会員病院で地域医療に従事している。

2 主な学校行事

令和6年	4月	5日	感染症抗体価検査・ユニフォーム採寸／第42期入学生
		8日	第42期生入学式
		9日	始講式／在校生
		10日	新入生オリエンテーション(～12日)
		17日	第1回実習指導者会議
		18日	講師会
	5月	10日	看護の日／両学科1～3年次生
		13日	薬物に関する講習／両学科1年次生
		14日	健康診断／両学科1・2年次生
		18日	第1回オープンキャンパス
		22日	春期レクリエーション祭・新入生歓迎会
		23日	看護スキル確認講習会(24日、29日、30日)
		28日	学校法人京都中央看護師養成事業団 第41回理事会・第40回評議員会
	6月	1日	第2回オープンキャンパス
		14日	特別講演／両学科1・2年次生
		15日	健康すこやか学級／看護学科2年次生
		18日	学校関係者評価委員会
		29日	第3回オープンキャンパス
	7月	4日	前期試験①／両学科1・2年次生(～6日)
		11日	前期試験①／両学科3年次生(～17日)
		20日	学生夏期休業(～8月16日)
		24日	第4回オープンキャンパス
		31日	第2回実習指導者会議・夏期研修会
	8月	3日	第5回オープンキャンパス
		17日	第6回オープンキャンパス
	9月	12日	解剖見学／両学科1年次生
		21日	前期試験②／両学科1・2年次生(～30日)
	10月	3日	卒後継続教育
		//	(専)京都中央看護保健大学校同窓会 総会
		18日	他職種連携教育にかかる先進地の視察・研修の受け入れ
		19日	第7回オープンキャンパス(オンライン開催)
		23日	関西看護学生看護研究大会
		30日	学校法人京都中央看護師養成事業団 第42回理事会・第41回評議員会
	11月	2日	看護研究発表会／看護保健学科4年次生
		//	指定校推薦入学試験
		12日	看護研究発表会／看護学科4年次生
		15日	学校祭
		16日	公募推薦入学試験前期
		19日	第1回学校運営会議

令和7年	12月	7日	保護者会
		9日	学校法人京都中央看護師養成事業団 第43回理事会・第42回評議員会
		10日	後期試験／両学科4年次生(～13日)
		21日	公募推薦入学試験後期
		24日	第2回学校運営会議
		25日	学生冬期休業(～1月7日)
	1月	9日	後期試験①／両学科1・2年次生(～10日)
		15日	一般入学試験
		17日	第3回学校運営会議
		22日	実習指導者会議
	2月	6日	卒業認定会議
		8日	開校記念日
		14日	第111回保健師国家試験
		16日	第114回看護師国家試験
		17日	一般入学試験・2次募集
		25日	後期試験②／両学科1・2・3年次生(～3月3日)
		26日	看護スキル確認講習会②／27日、3月5日、6日
	3月	7日	卒業生を送る会
		//	卒業講演
		10日	第39期卒業式
		12日	健康診断／両学科2・3年次生
		14日	防災訓練
		18日	学校法人京都中央看護師養成事業団 第44回理事会・第43回評議員会
		20日	看護職就職・就学合同フェア
		20日	学生春季休業(～4月8日)
		21日	単位認定会議
		24日	国家試験合格発表

3 学生関係

(1)学 生 数

【看護学科】

	1年	2年	3年	4年	計
令和6年4月	38名	42名	39名	45名	164名
令和7年3月	38名	41名	38名	45名	162名

【看護保健学科】

	1年	2年	3年	4年	計
令和6年4月	38名	43名	41名	42名	164名
令和7年3月	38名	43名	40名	41名	162名

(2)第39 期卒業生の状況及び国家試験結果

【看護学科】

卒業者数	国家試験	受験	合格	合格率(本大学校／全国)
45名	看護師	45名	44名	97.8% (90.1%)

【看護保健学科】

卒業者数	国家試験	受験	合格	合格率(本大学校／全国)
37名	看護師	37名	37名	100.0% (90.1%)
	保健師	37名	36名	97.3% (94.0%)

(3)令和7年度学生入学試験

【看護学科】

	出願	受験	合格	競争率
指定校推薦入学試験	18名	18名	18名	1.00倍
公募推薦入学試験前期	24名	24名	18名	1.33倍
公募推薦入学試験後期	6名	6名	3名	2.00倍
一般入学試験	13名	13名	6名	2.17倍
合 計	61名	61名	45名	1.36倍

【看護保健学科】

	出願	受験	合格	競争率
指定校推薦入学試験	15名	15名	15名	1.00倍
公募推薦入学試験前期	13名	13名	12名	1.08倍
公募推薦入学試験後期	3名	3名	3名	1.00倍
一般入学試験	17名	17名	14名	1.21倍
一般入学試験・2次募集	3名	2名	2名	1.00倍
合 計	51名	50名	46名	1.09倍

4 事業団役員(令和7年3月31日現在)

理事長	久野成人	医療法人社団育生会理事長(京都久野病院)
副理事長	清水鴻一郎	医療法人清水会理事長(京都リハビリテーション病院)
常務理事	原 昭彦	(専)京都中央看護保健大学校事務局長
理 事	久保俊一	(専)京都中央看護保健大学校学校長
	清水史記	医療法人清仁会理事長(シミズ病院)
	志摩裕丈	京都市保健福祉局医療衛生推進室長
	高木敏貴	京都岡本記念病院院長
	武田隆久	武田病院グループ理事長(医仁会武田総合病院)
	西城嘉子	ライフ・イン京都顧問
	畑 典男	長岡病院院長

監 事	平川祐子	(専)京都中央看護保健大学校同窓会顧問(十条武田リハビリテーション病院)
	松井淳琪	京都九条病院院長
評議員	森副高行	京都市保健福祉局医療衛生推進室医療衛生企画課担当課長
	吉川順介	医療法人社団貴順会会長(吉川病院)
	赤木 博	医療法人新生十全会理事長(なごみの里病院)
	阿形奈津子	(専)京都中央看護保健大学校副学校長
	石束佳子	(専)京都中央看護保健大学校顧問
	石丸庸介	医療法人社団石鎚会理事長(京都田辺中央病院)
	出野 順	(専)京都中央看護保健大学校事務部長
	高松晃司	京都成蹊法律事務所弁護士
	津崎桂子	一般社団法人京都私立病院協会事務局長
	富田哲也	社会福祉法人京都博愛会理事長(富田病院)
	仲田昌司	三菱京都病院事務長
	能勢亜友子	(専)京都中央看護保健大学校同窓会会長
	真鍋雄一郎	医療法人社団医聖会常務理事(八幡中央病院)
	村上英明	元 京都市立西京高等学校校長
	矢田貴子	公益社団法人京都府看護協会常任理事
	吉島紀江	京都華頂大学現代家政学部教授